

UNITE
FOR
GOOD

2025～2026 年度

大船渡西ロータリークラブ会報

七福人



よいことのために 手を取り合おう

RI 会長テーマ

会 長 菅野 嘉洋

副会長 三田地大悟

幹 事 松田 福美

＝会長指針＝

そして社会も磨きましよう

．．． 例 会 記 録 ．．．

8月第4週例会 2025年8月24日（木）

ソ ン グ： 奉仕の理想

ボックス：19,000円（報告者 佐藤裕貴会員）

お客様紹介： ジョブサポートデスク気仙 藤原範子様

本日出席率： 61.29% 前回修正後 61.29%（メークアップ 1名）（報告者 今野義也会員）

★ ジョブサポートデスク気仙 藤原範子様ご挨拶



こんにちは。今日は参加させて頂きありがとうございます。

ジョブサポートになってからは職員が減り大変な面もありますが、管内の高校の就職サポート等をさせて頂いております。

9月の東高校の模擬面接会にも参加させて頂きますので、宜しくお願い致します。

★ 会長の時間： 菅野 嘉洋 会長



今日は「大船渡市が日本遺産に追加認定されました」というお話です。

8/25（月）リアスホールマルチスペースで行われた日本遺産「みちのくGOLD浪漫」追加認定記念式典および記念講演会に参加してきました。

何のことやらという人もいると思うので簡単に説明いたしますと、文化庁で認定している日本遺産に大船渡市が入りましたよということです。

もう少し具体的にいうと、文化庁では、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定しています。

そのストーリーは全部で105あるのですが、そのうちの 하나가奈良時代、

みちのくで日本初の産金が始まったことをベースにする「みちのくGOLD浪漫」というストーリーです。これは令和元年に日本遺産に認定され、もともとは宮城県の涌谷町、南三陸町、気仙沼市、石巻市、岩手県の平泉町、陸前高田市の6つの自治体で構成されていたのですが、そこにこの度大船渡市が追加認定されたということでございます。

式典の後、文化庁の参事官補佐というかたの記念講演がありまして、日本遺産のコンセプトについてお話がありました。その中で面白いなと思うことを2点ほどお話したいと思います。

1点目は、日本遺産は「ストーリー」であり必ずしも目に見えるものだけではない、ということです。

観光というと、有名なものを見る、おいしいものを食べる、いい温泉に入る、など、わかりやすい対象を見たり触れたり、というものだと思います。日本遺産の考え方はその逆、一見わかりにくいとも思える

対象をストーリーでつなげる、その地方の歴史的背景、文化・伝統を点ではなく、面でとらえるというのが、日本遺産の大きな特徴とのことです。私なりの解釈ですが、中尊寺金色堂を見に行ってもすごい、

素晴らしいと感銘を受ける。これが点としての楽しみ方。それに対し金色堂を含めたみちのくの金にまつわる歴史・文化に関わるものをつなげ、一つのストーリーとして構成しそのストーリーを楽しむ、というのが面というイメージでしょうか。

2 点目は日本遺産の魅力に気づいてもらうためには、解説やガイドを通じた「体験・体感」を継続的に提供することが重要ということです。先ほどお話したように、日本遺産というのはパッと見てわかるというよりも、その地域の歴史・文化を読み解くストーリーを楽しむものですから、ある程度の知識がないと楽しめない。ですので、その地域の歴史・文化・伝統に詳しい解説者が必要となってくる、とのことでした。

ここで気が付いたのですが、点ではなく、ストーリーとして面でとらえるということと、それを十分味わい楽しむために解説者が必要ということ、イメージしやすいのは「ブラタモリ」。日本遺産のコンセプトにあのイメージが一番近いのではないのでしょうか。

話がそれましたが、ストーリーの魅力を十分伝えられるような解説者、ストーリーテラーがとても重要である、という考え方はとても興味深いというか私の心にすごくひかかりました。

その地域の歴史・文化に詳しい解説者というと、それこそ甘竹勝郎さんがまさにそのような人だと思えますが、あそこまでのレベルに至らずとも、その地域の魅力を伝えられる解説者を増やすことは、その地域の活性化につながるのでは、と思います。その地域に暮らす人が、その地域の歴史・文化を知り発信すること、それによって地元への愛着、誇りが生まれます。

地元への愛着が深い人が多い地域は間違いなく魅力的です。これは会社員時代、転勤を繰り返して実感したことでもあります。今回の日本遺産への追加認定をきっかけに、地域にある歴史的な背景に目を向ける人そして大船渡の魅力を語れる人が増えればいいなと思いますし、西ロータリークラブとしてもそういった地域の歴史的な意味・文化・伝統と向き合う機会が作れたらと思います。

ご清聴ありがとうございました。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- 1 (株)トラベルe旅より 国際ロータリー世界大会の案内と企画書が届いています。

大会開催日 2026年6月13日～17日 企画書必要な方は事務局までお申し出ください。

- 2 大船渡商工会議所庶業部会より 庶業部会開催の案内が届いています。

日 時 9月8日(月)10時30分～ 場 所 大船渡商工会議所1階研修室
出欠締切 9月2日

- 3 大船渡商工会議所青年部より 創立30周年記念式典・祝賀会の案内が届いています。

日 時 11月1日(土)15時～ 会 場 大船渡プラザホテル
会 費 10,000円 締 切 9月15日

- 4 米山梅吉記念館より 館報・賛助会入会のお願いと秋季例祭の案内が届いています。

秋季例祭 日 時 9月20日(土)14時～ 場 所 米山梅吉記念館ホール

- 5 佐沼ロータリークラブより 創立60周年記念誌が届いています。

- 6 大船渡ロータリークラブより元会員岡田様よりとして

仙台マンドリンクラブ定期演奏会の招待券4枚を頂戴しました。ご希望の方は事務局まで

◆◆◆ 委 員 会 報 告 ◆◆◆

★ 紀室綾子職業奉仕委員長

9月9日に実施いたします東高校模擬面接の面接官・サポーターが不足しておりますので皆様のご協力お願いいたします。

★ 藤原太伸社会奉仕小委員長

本日例会終了後、清掃作業を行います。

担当は、1班が「育みの像」 3班が「50周年記念碑」です。宜しくお願い致します。

(※1班は 例会場引っ越し作業を担当のため、清掃作業は無となった。)

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

フリーアワー：会員卓話

★ 千葉満輝会員



みなさんこんにちは。

今期から参加させていただきます、株式会社マイヤの千葉満輝です。
よろしくお願い致します。

今回は自分の仕事について皆さんと共有したいと考えます。

マイヤに入社して37年になります。(高卒入社)入社後は色々な教育期間を経てマイヤ本店(東日本大震災前まで営業)の食肉部門に配属されました。

まず商品を覚える事が大変で夢にまで出る状態でした。先輩の皆さんの丁寧な教えもあり3年目で盛店食肉部門に配属(現マイヤ本部)4年目でチーフを任され責任感が出た事を覚えております。

その後5店舗経験後、本部で商品仕入れ(バイヤー)の職務をする事になりました。

バイヤーが所属する商品部では、外部のお取引先様との関わりが多く、商談する方も先輩方や役職が上の方とお話しする事も多く、緊張したことを覚えております。

会長からは、三方良し(お客様・お取引先様・弊社)を考え行動するようと言われておりました。

商談する場合、丁寧な対応(先輩方も多いですが年下?年齢不詳もいます)を心掛け、ただしこちらの要望などは、ハッキリ伝える事を自分に言い聞かせ仕事しておりました。

バイヤーの仕事として、商品の決定と特売商品選定、外部要件を踏まえた販促計画を立案して行動に移す仕事です。一度の商談で何百・何千万の商品を決定する事も多くあります。後で大丈夫かなと思う時や、朝新聞に入ったチラシを見て何か間違いの表記していないかと思う日々も多かったです。

牛肉もA5/A4や国産牛・前沢牛・アメリカ産牛肉など色々な種類があり、決定する事に迷いがありました。

個人的ですが、昔はバラ肉など脂が多い肉(サシが入った物)を好んで食べていましたが、今は赤身肉が好んできてきました。年齢せい?

2011年の東日本大震災では、震災の夕方にはインター店店頭で商品の提供をしたり「食」のライフラインを守る必要もあり内陸に行き商品供給にあたった事も大変な事だったと記憶しております。令和4年3月から令和6年3月までマイヤ・青森マエダ/福島・宮城フレスコ・山形おーぱんの4社で設立したマークスHD(マークスホールディングス)に出向いたしました。(店舗数は約100店舗)マークスHDは仙台に本部を設けており、共同仕入れをする為に4社の代表と会議をする日々と、各社のトップに状況報告し、ご意見を頂きながら方向性を決定する仕事をしておりました。

地域性もあり、なかなかまとまらないことも多く、苦勞しながら仙台で勤務いたしました。

仙台からは週末帰って来ていた為、2年間で車も7万キロ走り16万キロまで走らせてしまいました。・・・壊れる前に処分いたしました。

仙台は夜まで明るい、野球を見ても直ぐ帰れる、東京に行くのも便利と非常に良かったです。雪が降った時5kmの通勤距離1時間(通常15分位)。車での生活に慣れている為、駅近くに部屋を決めなかった為、電車でも乗り継ぎ1時間の場所など不便な事もありました。

昨年3月より高田店店長に配属され、販売部の仕事を始めてのレベルで覚えました。

昨年9月から気仙沼一関地区長をさせて頂いております。今の担当は5店舗の数値責任、問題や課題を店長と共有して改善し、お客様に多く利用して頂く店を作る事です。

現所属は販売部。(店舗・商品を販売する、売れる物売れない物など商品部に意見)

前は商品部で商品選定・特売決定などして店舗に販売してもらう部署と両方させて頂き両方の部署の気持ちもわかる為、店舗と商品部の架け橋になればと思い仕事しております。

前会員の新沼達央さんは営業サポート部として活躍されておりました。

営業サポート部は総務・人事・情報が統括した部署です。

まだまだ新沼達央さんのように大船渡西ロータリークラブに貢献できないですが、皆さんからご指導頂きながら活動させて頂きたいと考えます。

今後よろしくお願い致します。 ご清聴ありがとうございました。

例会後「50周年記念碑」清掃

